

令和6年度

介護保険事業者における事故報告 集計結果

横須賀市役所 民生局福祉こども部介護保険課 給付係

令和6年度 介護保険事業所等における事故報告書集計結果について

令和6年4月1日から令和7年3月31日までの期間に、横須賀市へ報告のあった事故の集計結果を公表します。令和6年度の事故報告件数は、1,750 件でした。

1. 事故報告の目的

介護保険サービスの提供により発生した事故を把握するとともに、事業者による事故の速やかな対応と事故防止への取組みを支援・促進することにより、介護サービスの質の向上と安心して利用できるサービス提供体制の確立を目指すことを目的とします。

2. 市へ報告する事故内容

- (1) サービスの提供による、利用者のケガ又は死亡事故の発生
- (2) 食中毒及び感染症、結核の発生
- (3) 職員(従業員)の法令違反、不祥事等の発生
- (4) その他(誤薬、報告が必要と認められる事故の発生等)

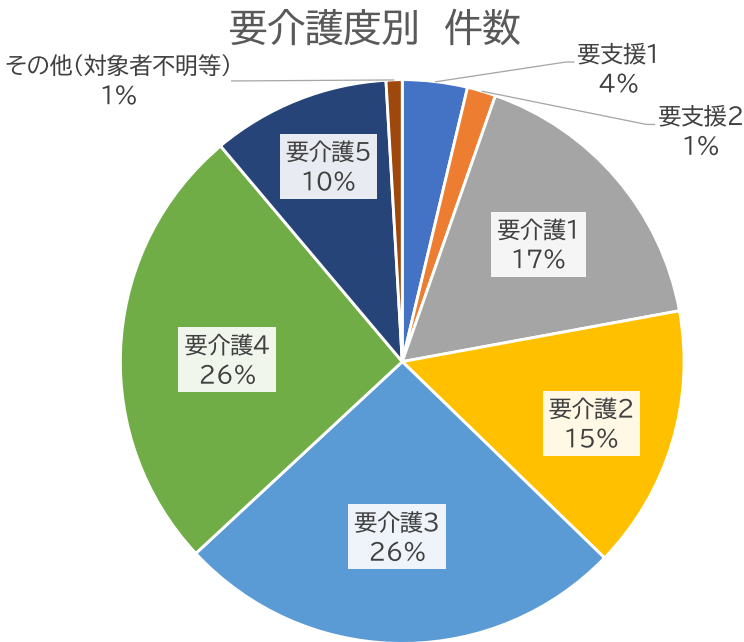
3. 事故の届出件数

※割合は端数の関係で 100%とならない場合がございます。

(1)要介護度別

要介護度別事故件数では、要介護3の 452件(27.58%)が最も多く、続いて要介護4(27.52%)でした。

要介護度	件数	割合
要支援1	65	3.97%
要支援2	29	1.77%
要介護1	293	17.88%
要介護2	265	16.17%
要介護3	452	27.58%
要介護4	451	27.52%
要介護5	179	10.92%
その他(対象者不明等)	16	0.98%
合計	1,750	100%



(2)サービス種類別

市へ報告のあった事故報告のうち、最も届出件数が多かったサービス種別は特定施設入居者生活介護の638件(38.93%)でした。続いて介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)が500件(30.51%)、認知症対応型共同生活介護が187件(11.41%)でした。施設系サービスが多い結果となっています。

サービス種類	件数	割合
特定施設入居者生活介護	638	38.93%
介護老人福祉施設	500	30.51%
認知症対応型共同生活介護	187	11.41%
短期入所生活介護	105	6.41%
介護老人保健施設	116	7.08%
通所介護	64	3.90%
小規模多機能型居宅介護	13	0.79%
地域密着型通所介護	55	3.36%
訪問介護	18	1.10%
訪問看護	29	1.78%
看護小規模多機能型居宅介護	4	0.24%
通所リハビリテーション	10	0.61%
福祉用具貸与	1	0.06%
短期入所療養介護	0	0.00%
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0	0.00%
認知症対応型通所介護	8	0.49%
地域密着型特定施設入居者生活介護	0	0.00%
訪問リハビリテーション	1	0.06%
居宅介護支援	0	0.00%
居宅療養管理指導	0	0.00%
訪問入浴介護	0	0.00%
合計	1,750	100%

4. 事故の内容

(1) 事故種別

最も多かった事故種別は、「転倒」で669件でした。

事故種類	件数
転倒	669
転落	119
誤嚥・異食	25
誤薬・与薬もれ	518
医療的ケア関連	34
法令違反	5
食中毒	0
感染症	13
不明	79
その他	288
合計	1,750

(2) 診断内容

骨折が最も多い原因でした。

	件数
骨折	383
打撲・捻挫・脱臼	304
切傷・擦過傷	166
やけど	0
その他	171

○死亡の原因

誤嚥による窒息死・誤嚥性肺炎による死亡が最も多い原因でした。

原因	件数
誤嚥	3
転落	1
その他	9
合計	13

5. 事故発生後の対応について

(1)説明について

事故が発生した場合は、速やかに市町村、利用者の家族等に連絡を行わなければなりません。事故の内容・経過・原因については、利用者及び家族に理解と納得を得られるように十分な説明をしてください。

(2)記録について

事故が発生した場合は、事故の状況及び事故に際して採った処置について記録しなければなりません。事故の記録については、全容が把握でき、家族や第三者にも事実が明確に理解できるように、時系列で詳細に残してください。

(3)再発防止に向けて

事故の再発防止に向けて、①事故原因の分析、②分析を通じた改善策について職員間での情報共有、③事故の対応方法についてのマニュアル作成、④介護事故に関する研修の実施、⑤ヒヤリハット報告書の作成等の取り組みをお願いします。